



天童市×織田家の歴史、観光にどう活かす？

東桜学館高等学校2年 43班

要旨

自分たちの班では、約200年前に現・天童市を治めていた織田家を活用した観光を提案して天童市を盛り上げようと考え、「天童市観光デジタルマップ」を作成し、中間発表会に参加しました。そこで、他校の先生より「地元でお金を使ってもらうことも大事」と助言され、お金を使ってもらう方法について考えました。

1. 研究背景・目的

前回の中間発表会では、織田家を使った観光で天童市をPRするために「天童市観光デジタルマップ」を作成してSSH中間発表会に参加しました。そこで、他校の先生より、「観光で最も重要なことは、その地域(=天童市)でお金を使ってもらって地域を活性化させることだよ」と助言をもらいました。そこで私達は、織田家と関連づけて地域を活性化させる方法について話し合いました。

2. 研究方法

私達の班では、お金を使ってもらう方法として「体験型のアクティビティ」と「お土産」のどちらかが良いと考えました。しかし、「体験型のアクティビティ」では調査する時間などが少なく、成果発表会に間に合わない可能性と実現させることのハードルの高さが分かったため、今回は「お土産」に注目することになりました。

私達の班の今回の研究では、東桜学館高校の1年生と2年生を対象にアンケートを行いました。アンケートは以下の3つを聞きました。

Q1.どのようなお土産が買いやすいのか
(例:小分けされている)

Q2.どのようなお土産が印象に残りやすいか
(例:かわいいパッケージ)

Q3.天童の観光と言ったら何か
(例:フルーツ)

今回のアンケートは59人に回答して頂きました。ご協力ありがとうございました。

※回答形式は自由回答のため、1人で複数回答している方もいたためアンケートの総数はそれぞれの項目で変化しています。

3. 結果・考察

【研究の結果】

アンケート結果は以下の通りです。

Q1.どのようなお土産が買いやすいか	回答数	CRF
安い	18	0.264
個包装されている	16	0.499
パッケージが大きすぎない	14	0.704
その他	20	1.00
合計	68	

Q2.どのようなお土産が印象に残りやすいか	回答数	CRF
地域に関連するもの	18	0.285
美味しい食べ物	14	0.507
形のあるもの(例:ぬいぐるみなど)	13	0.713
その他	18	1.00
合計	63	

Q3.天童の観光と言ったら何か	回答数	CRF
将棋関連	37	0.506
温泉	13	0.684
蕎麦	3	0.724
その他	20	1.00
合計	73	

※CRF=累積相対度数

【考察】

これらのアンケート結果より、

- ・安くて個包装されている。
- ・地域に関わるもの(特産品など)を使っている美味しい食べ物。

これら2つの条件を満たすことが重要ではないかと考えました。また、お土産はQ3の結果より、知名度の高い将棋などもお土産に適していると考えられます。しかし、天童市はフルーツのように盛んに行われているものがあまり回答されていない、というのも多いと感じたのでこれらにも注目することも重要だと思いました。

4. 研究の振り返り

今回の研究では、どのようなお土産が求められているのか、天童市の観光では何が有名なのかを知ることができた。これら2つの条件を満たすことが重要ではないかと考えました。また、お土産はQ3の結果より、知名度の高い将棋などもお土産に適していると考えられます。しかし、天童市はフルーツのように盛んに行われているものがあまり回答されていない、というのも多いと感じたのでこれらにも注目することも重要だと思いました。

5. 研究で訪れた場所

- ・三宝寺(歴代織田家の位牌)
- ・建勲神社(信長公の肖像画)
- ・天童織田の里歴史館
- ・天童市観光協会
- ・天童市役所 市長公室



中央部に位牌と肖像画→